

かもう公民館 図書室だより

平成27年度 9月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

9月 (長月 ながつき)

9月23日(水)は秋分の日。二十四節気のひとつで、昼と夜の長さがほぼ同じになる日です。先祖を法要する秋彼岸の中日でもあり、この日を境に、少しずつ夜が長くなって秋が深まっていきます。

(参考資料:「なごみ歳時記」)



今月の特設展示コーナー

【特集「敬老の日」おすすめの本】

9月21日は「敬老の日」。長年に渡り社会に尽くしてきた方々を敬愛し、長寿を祝う日です。このことにちなんで、これからの人生を更に豊かにする本をご紹介します。

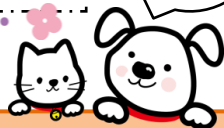
おすすめ

「心に効く いい人生をつくる
11行の話」 譽田隆史
何でもない毎日にこそ幸せは転がっている。人生を彩る美しく尊い物事を12カ月ごとに並べた、優しい暮らしの歳時記。



※読書推進運動協議会選定図書その他、関連本を展示しています。

リーフレット、
「敬老の日」
読書のすすめ「もも」



●9月カレンダー

休室日 ○

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開室日 : 火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊
貸出期間 : 15日間

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「あの家に暮らす 四人の女」 三浦しをん 著



謎の老人の活躍、ストーカー男の闖入、重なりあう生者と死者の声。古びた洋館に暮らす四人の女たちの、豊かでかしましい日常を描いた、現代版「細雪」。

明治時代、日本をいっきに近代化させる源となった産業遺産。現在の写真と当時の写真を織り交ぜながら、その歴史と存在意義を綴る一冊。



「ニッポンの産業遺産」
榎出版社

「かいけつゾロリ ようかい大うんどうかい」 原ゆたか さく・え



ようかい学校の先生にたのまれて、ようかいだらけの運動会に出ることになったゾロリたち。ふつとは一味違う運動会で、今回もゾロリたちが大活躍!

一般書

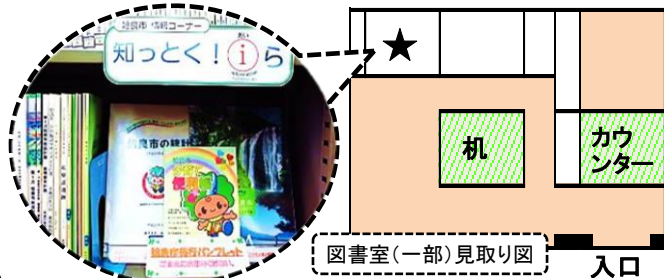
「あたらしい九州旅行」 チンブイブイ旅座
「赤ちゃんからはじまる便秘問題」 中野美和子
「新しいクラフトビールの教科書」 プレジデント社
「INTERIOR TRIP」 雅姫
「家族スクランブル」 田丸雅智
「今日も一日きみを見てた」 角田光代

児童書

「としょかんへいこう」 斉藤洋・田中六太
「大迫力!日本の妖怪大百科」 山口敏太郎
「ポプラディア大図鑑 WONDA16 イヌ・ネコ」

始良市情報コーナーのお知らせ

始良市に関する情報コーナー、『知っとく①ら』コーナーを設置しました。統計資料や市議会会議録の他、始良市が作成したパンフレット等もありますので、ぜひご活用ください。



蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

*「アハメドくんのいのちのリレー」 鎌田實 著 (集英社)

戦争ごっこよりギターを愛する、パレスチナ人アハメド。無邪気な6歳の少年はイスラエル兵に銃撃され、脳死と判定される。医師から臓器提供することを提案されたアハメドの父は、悩んだ。承諾すれば愛する息子の臓器が、イスラエルの人々にも移植されることになる。憎き敵対国の、息子を殺したイスラエル国の人間をなぜ救わなければならないのか。悩んだ末、父親は決断する。「憎しみあったって誰が幸せになるだろう」…子どもから大人まで、是非読んでほしい一冊。(ペンネーム・山田正庸)

